

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和7年度 東中だより 第1号	発行日	令和7年4月7日
教育目標	新しい多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【令和7年度よろしくお祈いします】

今年度もよろしくお祈いいたします。校訓『自治 勤勉 友愛』のもと、学校教育目標を「多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成」と掲げていました。

また、研究テーマを「自らの将来を切り拓く生徒の育成～生徒が自ら考え、学び、決定する授業・学校づくり～」としています。

現在、少子高齢化の進行、グローバル化・技術革新の進展など、社会構造の急激な変化は先の見通せない状況を生み出しています。このような状況は価値観の多様化を生じさせ、人工知能の飛躍的な進化とも相まって社会の不安定化を招くリスクを有しています。こうした社会の中、子どもたちが遅しく豊かに生き抜くためには、保護者や地域の方々の協力と連携は欠かせません。今年度も本校の教育活動にご支援とご協力いただきますようよろしくお祈いいたします。

さて、2、3年生のみなさん進級おめでとうございます。桜がきれいに咲いてきました。桜の花を一つひとつよく見ると少しずつ大きさや色、咲き具合が違ってきます。そんな桜の花は、みなさんと同じだと思ひます。みなさん一人ひとりがそれぞれ桜の花のように、様々な美しさを持って咲いています。一人ひとりの良いところがあり、苦手なところがあり、運動が得意な子もいれば、音楽や美術などが得意な子もいます。そして、この東中学校で一緒に咲いています。校長先生は、みんなそれぞれ違ひう自分を大事にし、自分自身を誇りに思ひ、大好きになって欲しいと思ひます。

また、桜の花には、いくつかが固まって咲いているところがあります。これは、一人ひとりが集まって、友だち同士が仲良くしているように見えます。そして、1本の桜の木は、まるでクラスのように見えてきます。教室の中で、仲良しの集まりや班ごとのまとまりがあることと同じように見えてきます。桜の木が何本も集まっている様子は、本校の全クラスのみんなが集まっているように見えます。

本校のみなさんは一人ひとりでも、何人かの友だちが集まってもとても素敵です。クラスとして集まっても、全校生が集まっても素敵です。今年度もそんな東中学校にしていきましょう。

【始業式校長講話の概要】

今日から皆さんは、新2年生、新3年生として気持ちを新たに出発していることと思ひます。①「始まりは、いつもチャンス」②「目標があれば、人は変わることができる」③「何事もできない理由より、できる方法を考えてスタートしてほしい」と思ひます。

みなさんが「夢と目標」をもって頑張れるよう「レンガを積む3人の男」の話をし



ます。中世のとあるヨーロッパの町の話です。建築現場に3人の男が働いていました。そこに、旅人に「何をしているのか」と聞かれ、それぞれの男はこう答えました。

1人目の男は、「レンガを積んでいる」と答えました。2人目の男は、「金を稼いでるのさ」と答えました。そして、3人目の男は明るい顔を上げて、「後世に残る街の大聖堂を造っているんだ」と答えました。

3人の男はレンガを積むという同じ仕事をしていますが、持っている目的、志はそれぞれ違います。人に命令されて働いているのか、自分が見出した夢や目標を持って働いて生きているのかで、仕事の充実度が違ってくるのは当たり前ですね。

ただ、大きな目標を立てても、達成が無理だと思えば、まずは「小さな目標を立ててください。それを達成する」ことを繰り返すことが大事です。そうした心と行動の習慣を身につけることで、新しい目標も見つけやすくなります。夢や目標は、自分の能力と意欲を引き出し、様々な困難や苦難を乗り越えていきます。みなさんの夢や目標を応援しています。頑張ってください。

ただ、人は大きな課題や困難にぶつかったり、対立が生じたりした時、人の行動は2通りに分かれます。一つは、「壁」をつくって諦めたり、言い訳したり、逃げ出したりする人、もう一つは、「橋」を作りどうにか解決策を考えて、乗り越えていこうとする人です。(中略)

この一年、元気よく楽しく過ごすには健康が第一です。しっかりと寝て、しっかりと食べて、適度な運動を欠かさず行って、明るく元気に充実した日々を過ごしていきましょう。(略)

教職員の異動について

本校を去られた先生方、新たに着任した先生方、春は、「別れ」と「出会い」の季節です。お世話になった11名の先生方と、新たにお世話になる10名の先生方を紹介します。(敬称略)

[個人情報保護のため割愛しています]